

美しい風景を未来へ 津山沢田が棚田遺産認定

「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」の認定式は3月25日、市役所庁舎にてオンラインで開催され、津山町沢田地区の棚田が認定されました。

沢田集落協定(阿部彰代表)は、2000年から中山間地域等直接支払交付金を活用し、生産条件が不利な急傾斜の農用地で、トウモロコシの栽培と農用地の維持や保全活動に尽力。地区の美しい棚田を含む里山風景を地区一体で守っていることなどが評価されました。阿部代表は、「地域で取り組んできた活動が評価されてうれしい。今後も棚田を含む里山風景を守りながら、新しいことにも挑戦していきたい」と喜びを語りました。



阿部代表(左)と阿部隆一副代表。棚田でのトウモロコシ栽培は、地区内外の人たちが一丸となり地域活性化に励んでいます。

登米と気仙沼つなぐ 高校生がコラボ弁当考案

登米総合産業高と気仙沼向洋高生徒考案のコラボ弁当が3月11日から21日まで、道の駅三滝堂と気仙沼市の道の駅大谷海岸で販売されました。

プロジェクトは両校が連携しながら進め、両市内にある道の駅と協力し販売に至りました。11日に道の駅三滝堂で開かれた販売会では、登米総合産業高の生徒が店頭でPR。弁当を考案した1年の工藤紗恵さんは「お米は先輩たちが育てた環境保全米を使っています。登米と気仙沼の味を幅広い年代の人たちにおいしく食べてもらえたらうれしいです」と語り、笑顔で購入者に弁当を手渡しました。



登米産牛とサメ肉を使った「サメンチ」や、油麩を使った「麩じゃが」など、両市の食材が満載の弁当が完成しました。

長年紡いだ歴史に幕 米山・南方の幼稚園閉園





上:みんなで並んだ思い出の一枚(東郷幼稚園)、中:保護者や先生たちと一緒に記念撮影(米山東幼稚園)、下:最後に先生の伴奏で歌う園児たち(米山西幼稚園)

「米山西幼稚園閉園式」が3月15日、「米山東幼稚園閉園式」「東郷幼稚園閉園式」は3月16日、各園で開かれ、園児とその保護者が参加しました。閉園式では保護者に見守られる中、園児たちが別れの言葉を発表したり歌を歌ったりして、たくさんの思い出が詰まった園舎に別れを告げました。

保護者や地域の人々に支えられ、数多くの子どもたちが巣立っていった各園は3月31日をもって閉園になります。4月1日からは米山町と南方町それぞれで町の幼稚園が1つに統合され、米山町では旧米山西幼稚園園舎を利用し「米山幼稚園」、南方町では現南方幼稚園園舎を利用し「南方幼稚園」として、新たな歴史がスタートします。

各園のあゆみ

米山町	南方町
2002(平成14)年4月1日 中津山幼稚園と米岡幼稚園が統合し米山西幼稚園、桜岡幼稚園と善王寺幼稚園が統合し米山東幼稚園が開園	1971(昭和46)年4月1日 東郷幼稚園が開園
2005(平成17)年4月1日 市町村合併により各園が町立幼稚園から市立幼稚園に改名	
2022(令和4)年3月31日 米山西幼稚園、米山東幼稚園が閉園	2022(令和4)年3月31日 東郷幼稚園が閉園
	
2022(令和4)年4月1日 米山西幼稚園と米山東幼稚園が統合し米山幼稚園として開園	2022(令和4)年4月1日 東郷幼稚園と南方幼稚園が統合し南方幼稚園として開園

花鳥画の魅力伝える 仙台四大画家の作品展

企画展「花鳥舞う」が3月15日から6月5日まで、登米懐古館で開かれています。

企画展では、明治時代に仙台に在任した裁判官で、南画家としても知られる川村雨谷が命名した「仙台四大画家(東東洋・小池曲江・菅井梅園・菊田伊州)」の作品などが紹介されています。四季の花や鳥をテーマにした絵画を中心に、動物・昆虫などを含めた花鳥画が訪れる客を魅了しています。東東洋は、石越町出身。京都、金沢、長崎などを巡遊後、京都に定住しました。仙台の藩画員に選ばれ、仙台城二の丸や藩校養賢堂の障壁画制作を任されるなど活躍した画家です。



「花鳥舞う」の後期展示は、仙台四大画家にスポットを当てています。各々の画風の違いを見比べ、楽しむことができます。

芽吹いた春を楽しむ 登米コース2周年フェア

「宮城オルレ登米コース2周年感謝祭」は3月13日に開かれ、県内から119人が参加しました。

感謝祭は、新型コロナの影響により中止された「登米コースオープン記念事業」を代替するイベントとして企画。2周年を祝うセレモニー後、参加者は地域の歴史や文化に触れることができる登米コースのトレッキングに出発しました。家族4人で参加した佐藤公一さん=塩竈市=は「日頃から各地へウォーキングに出かけています。登米コースは聞いていた通り良いコースでした。あいにくの天候でしたが、小学生の孫たちとオルレを楽しめました」と話しました。



イム・ヒスン駐仙台大韓民国総領事館総領事は「寒い冬を押しつけて出てきた春の新芽を楽しんでほしい」とあいさつしました。